

自然いろシート普及委員会の紹介



地域景観リーダー育成研修 課題発表 秋山 洋一

活動内容の紹介①

- 自然いろシート普及委員会

<http://shizeniro.com/> 及びFacebookページ より引用

- 所在地 山梨県北杜市

- 設立 平成23年9月 運営委員 6名

(山梨県建築士会会員 長坂さん 所属)

- ブルーシートに替わる自然色の養生シートを普及させるために、建築系職人たちにより始まった団体 です。

「なんでブルーシートなの？」

- ・ 自然いろシート普及委員会とは、自然色の養生シートを普及させて色彩景観環境をよりよくし、観光や地域振興への貢献を図る
- ・ 10YR CLUBさんなどで紹介されている、景観に配慮したYRシートとの出会いをきっかけに、八ヶ岳周辺・山梨県北杜市付近から、ブルーシートを自然色のシートに変えていく活動を始めました。
- ・ 2013年2月 美しい県土づくり大賞奨励賞受賞



連 携

* **美しい県土づくり推進室** 山梨県ホームページより引用

美しい景観をより楽しむためには、人工物などを周囲や背景に溶け込ませることが必要です。そこで、官民協働の組織「自然色シート・ネット普及研究会」を設立し、周辺景観に自然に溶け込む色の自然色シートや自然色ネットの普及を進めております。

▪ **自然色(しぜんいろ) = 周辺景観に自然に溶け込む色**

<https://www.pref.yamanashi.jp/kendosui/sizenniroy.html>

* **10YR CLUB** <http://www.10yr.jp/>

* **景観シート(株式会社SANRI)**
<http://keikan-sheet.com/index.html>



活動内容の紹介② -1

1. 活動の成果、波及効果

- 民間や行政でのPRにより、シートの活用が多くなる
 - * PR例 イベントでの展示 ー 県民の日、地域のイベント
講習会、講演会での展示
 - * 販売ルートが確立される インターネット販売 など
- 2015年2月自然色シート・ネット普及研究会設立参加



活動内容の紹介② -2

2. 成功の要因

- 民間と行政の連携

3. 学んだこと、得たこと

- 景観の重要性、
官民の連携の大切さ

4. 活動の今後の展開

- 自然いろシートの
更なる普及



5. 現状の課題点

- まだ、一般ユーザー（建築、農業 従事者など）に、理解されていない。知らない。
- 景観の重要性が浸透していない。
既存の物、楽な物（手に入りやすい、いつもの）、安い物、面倒、必要無い



提 案

* 景観の重要性のアピール

- **なぜ景観を良くする必要が有るのか？** 10YR CLUB HPより引用
 - ・建築や道路には多くの人が**違和感**を持たずに受け入れられる色彩があります。日本の建築外装を測色したデータの蓄積から日本の建築物の外装色はYR(イエローレッド)系やY(イエロー)系の中・高明度、低彩度範囲に分布が偏ることが分かってきています。このような色彩は日本人が長い時間を掛けて育ててきたものです。

→人の感覚なので、理解できる人・できない人の差がある

→景観は、「必要無い」という人をどのように、協力していただけるようにするのか？ — お願い 教育 囲い込み

→景観が悪くなると、地域の特色が無くなる 人が離れる 停滞する

→理解している人、良くしようと考えている人を増やす

○景観を良くする事が当たり前と感じられるように継続した意識改革

* いつでもどこでも、景観の重要性を訴える
県のチラシ、事例などの紹介